



2022年12月22日

株式会社 阿波銀行

四国開発土木株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、四国開発土木株式会社（代表取締役 松浦 明人、本社：徳島県三好郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	四国開発土木株式会社
所在地	徳島県三好郡東みよし町中庄 276 番地 1
代表者	松浦 明人
業種	土木工事業
設立	1970 年 9 月 22 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年12月22日



四国開発土木株式会社 代表取締役 松浦 明人

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	職場の人権・働きがい	従業員のワークライフバランスの充実を目指し公私ともメリハリのある生活スタイルにより仕事の効率性向上に取組みます。	① (1)公平な人事評価を行い、適切な賃金の決定を目指す。 (2)ワークライフバランスを充実させます。	
			② (1)2025年までに完全実施 (2)週休2日制の完全実施、年間5日以上の有給休暇の推進100%実施	
環境	環境への配慮	エコアクション21認証を継続させるとともに環境に配慮した製品の導入を行います。	① (1)二酸化炭素排出量削減の実施 (2)事務用品(工事看板)のグリーン購入、リサイクル製品の積極的な導入を目指します。	
			② (1)年間1%削減の継続実施 (2)年間3品目以上	
社会	従業員のボランティア活動の促進	より良い地域づくりに貢献するため、従業員のボランティア活動参加をサポートします。	① (1)地元河川の清掃活動を継続し、にし阿波の自然環境を大切に守りつつ地域の人々との調和を図り、環境の保全に努めます。 (2)建設業協会が主催する清掃ボランティア活動へ積極的に参加します。	
			② (1)年3回以上、8人以上の参加を目指す。 (2)年1回以上、参加人数2名以上を目指す。	
環境・社会	教育	防災意識を高めアウトドアスキル向上を目指す事で有事に強い人材の育成を図ります。	① 防災講座を開催し、地元集落の地域自主防災会、小中学校の学生やその保護者の防災意識を高めます。	
			② (1)防災士 施設管理職員の100%取得 (2)建設業BCP/BCM認証登録の継続	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。